

4 診療科の状況

(1) 医師名簿

(平成28年度)

診療科	職名	氏名	年齢	当院発令年月日 当院勤務年月数	備考
外科	院長	三枝 伸二	56	12.7.1 16.9	
内科	副院長 兼内科部長	大橋 保	61	3.4.1 26.0	
内科	総合診療科 部長	田中 裕之	44	21.4.1 8.0	
	医長	石橋 和久	37	27.4.1 2.0	H29.3.31退職
	医長	上村 英里	33	27.4.1 2.0	
	医務技師	尾田 佑美	30	28.4.1 1.0	新規採用 H29.3.16退職
消化器内科	消化器内科 部長	上野 雄一	38	28.4.1 2.0	H29.3.31退職
	医務技師	羽田 明生	32	28.4.1 1.0	H28.4.1 大島病院から転入
循環器内科	循環器内科 部長	吉重 祐介	43	27.4.1 2.0	
	医長	大井 正臣	38	21.7.1 7.9	H29.3.31 大島病院へ転出
	地域医療 支援医師	古川 重治	66	28.4.1 1.0	非常勤
外科	外科部長	塗木 健介	53	27.7.1 1.9	
	消化器外科 部長	木原 研二	58	26.7.1 2.9	
	医長	安藤 慶	40	28.7.1 0.9	新規採用
	医務技師	保坂 優斗	27	28.3.1 0.4	H28.6.30退職
放射線科	放射線科 部長	原田 治	57	19.7.1 9.9	

※ 勤務年数, 年齢は平成29年3月31日現在

(2) 内 科

平成 28 年度の内科は、大橋内科部長、総合診療科の田中総合診療内科部長、総合診療科の石橋医師、人工透析内科の尾田医師（平成 28 年 4 月～）で診療しております。

尾田医師は、大橋医師とともに“血尿・蛋白尿から腎不全まで”腎臓内科一般の診断・治療を行っています。腎炎、ネフローゼ症候群、糖尿病性腎症などの全身疾患に伴う腎疾患の診断・治療、急性腎不全、慢性腎不全症例の保存療法から透析導入、内シャント作成、循環器、消化器、外科などの種々の合併症のある透析患者の治療、各種血液浄化療法（血液透析療法、血液濾過透析、ECUM、血漿交換療法、エンドトキシン吸着など）を実施しています。

H28 年度実績

慢性維持透析新規導入患者数：20 名
内シャント設置術 ：12 件
内シャント経皮的血管拡張術：3 件

田中医師は呼吸器領域を中心に、石橋医師は糖尿病領域を中心に内科一般を診療しています。また緩和ケア部門も担当しています。その他、地域医療支援機構の代診医派遣業務を行っており、南さつま市笠沙の野間池診療所に 4 日間、薩摩川内市の下甕手打診療所に 4 日間、鷹巣診療所に 6 日間の代診派遣を行いました。

呼吸器関連の検査では、気管支鏡検査 18 件、無呼吸症候群に対する PSG 検査 2 件を行いました。入院患者疾患分類は以下の通りです。

呼吸器感染症（肺炎等）	96 件（内、肺結核 6 件）
原発性肺癌	86 件
びまん性肺疾患（間質性肺炎等）	20 件
閉塞性肺疾患（COPD、気管支喘息等）	15 件

また、緩和ケア部門の担当として癌の末期の患者様の受け入れも行いました。

癌末期の緩和ケア（肺癌を除く、その他の癌）	13 件
-----------------------	------

他に、熱中症、脱水症、感染性腸炎、アナフィラキシー、関節リウマチ、リウマチ性多発筋痛症、DIC、過換気症候群、ダニ媒介感染症、带状疱疹、痛風等の入院診療を行いました。

血液外来は非常勤の血液専門医 加藤吉保医師により、毎週火曜日と月 2 回木曜日に診療を継続しています。

(3) 消化器内科

平成 28 年度の消化器内科は常勤 2 人体制が維持され、上野・田淵から上野・羽田へと新たな体制となった。一昨年・昨年同様、鹿児島大学からの内視鏡検査の応援はなかったが、肝臓専門外来に来ていただき、肝疾患患者数も増加している。

診療内容は前年を踏襲する形で行い、外来患者数・入院患者数は昨年度に比べて増加した。内視鏡検査も ERCP の件数増加が顕著であった。今後も患者増加を見込むには開業医の先生方からの継続的な紹介や入院日数の調整が必要と思われる。過疎化・高齢化の進む薩南地域ではいかにビジネスモデルを構築するかが今後の課題と考えられた。

内視鏡関連では診断から治療内視鏡への時代変遷の変革期であり、ニーズに耐えうる医師の質的・量的の向上、インフラ整備、スタッフ教育の必要性を感じた。

主な検査実績は（2016 年 4 月～2017 年 3 月）以下のとおりであった。

◆ 上部内視鏡検査	1,578 件
◆ 下部内視鏡検査	792 件
◆ ポリペクトミー(胃・大腸)	182 件
◆ EUS	251 件
◆ EUS-FNA	8 件
◆ ERCP	149 件
◆ MDL	16 件
◆ ESD	22 件

(4) 循環器内科

平成 28 年度は、吉重循環器内科部長、大井医長、古川先生の計 3 名で診療に当たりました。当科では主に心不全、冠動脈疾患(心筋梗塞や狭心症)、弁膜症疾患、大動脈疾患、不整脈疾患を中心に検査、治療を行っています。

検査としては、心エコー、経食道心エコー、ホルター心電図、冠動脈 CT、心筋シンチ、心臓カテーテル検査をコンスタントに施行できました。

治療としては、薬物療法を基本に、人工ペースメーカー(新規、交換)や、血管内超音波 (IVUS)を使用した経皮的冠動脈形成術(PCI)、鹿児島大学や鹿児島医療センター等と連携し、外科的手術(冠動脈バイパス術や弁置換術、大動脈瘤手術)やカテーテルアブレーションの依頼をしながら治療も充実させています。

今後も南薩地区の循環器科の中核であるとともに、地域の診療所や病院との連携をより一層強めて、高齢化社会医療のモデルを構築していく必要があると痛切しております。

循環器科実績

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
心不全	94	79	92	110	93	110	164
心筋梗塞	6	10	33	61	63	98	117
(急性)				19	19	13	15
(陳旧性)				42	44	85	105
狭心症	-	53	139	72	126	183	216
心エコー(経胸壁)	2,282	2,253	2,321	2,233	2,235	2,262	2,247
経食道心エコー	10	11	12	15	20	7	8
Holter 心電図	250	240	222	253	235	251	244
心筋シンチ	246	233	264	314	286	325	288
冠動脈CT	-	-	-	17	25	74	111
心臓カテーテル	78	64	87	120	127	139	204
人工ペースメーカー	37	47	39	39	38	35	40
(新規)	20	28	24	26	29	29	14
(交換)	17	19	15	13	9	19	26
PCI	2	-	10	31	53	56	60
IVUS(血管内超音波法)				11	40	11	40

(5) 外 科

1 外科の特徴

平成28年の外科は、三枝医師（院長）を筆頭に木原医師（消化器外科部長）、塗木医師（外科部長）、保阪医師（3月～6月）、安藤医師（7月～）のメンバーで診療を行いました。また、時折元院長である福元先生に手術指導をいただいています。

消化器外科を中心に乳腺手術・肺手術・甲状腺手術も手掛けており、鏡視下手術も腹部疾患を中心に積極的に導入しています。当科では、抗がん剤治療に関して中央施設に遅れることなく、最新の知見・プロトコルを南薩地域の癌患者に提供すべく、鹿児島大学消化器外科（旧第一外科）主催の臨床研究のみならず、大学病院も含めた九州の主たる癌治療施設が参加しているKSCC(Kyushu Study group of Clinical Cancer)による化学療法臨床治験にも積極的にエントリーしています。これにより消化器外科領域においては、ほぼ全国レベルの抗がん剤治療の提供が可能と自負しています。

今後も地域の病院・医院・介護サービスステーションとの地域医療連携をさらに強化し、医療サービスの維持に努力します。

2 外科の実績（平成28年度）

- ◆ 全手術症例 218例
- ◆ 全身麻酔症例 191例（鏡視下手術症例 84例）

手術名	件数（うち鏡視下手術）	手術名	件数（うち鏡視下手術）
リンパ節摘出術	1	鼠径ヘルニア手術	45(18)
胃切開術	3(2)	大腿ヘルニア手術	2
胃切除術（悪性腫瘍手術）	2(2)	腹壁癒痕ヘルニア手術	5
胃縫合術	2	膈ヘルニア手術	3
PEG	5	虫垂切除術	11(9)
PTEG	2	胆嚢摘出術	36(32)
肝切除術	2	胆嚢外瘻造設術	4
気管切開術	2	腸管癒着症手術	5
急性汎発性腹膜炎手術	3	皮膚切開術	5
肺悪性腫瘍手術	2(2)	胆嚢悪性腫瘍手術	1
胸腔鏡下試験切除術	1(1)	肛門ポリープ切除術	1
胸腔鏡下肺切除術	2(2)	腹腔鏡下直腸切除・切断術	4(2)
結腸切除術（良性腫瘍）	2	腹腔鏡下試験開腹術	1(1)
結腸切除術（悪性腫瘍）	21(11)	乳腺悪性腫瘍手術	1
CVポート造設	9	皮膚、皮下腫瘍摘出術	3
甲状腺悪性腫瘍手術	2	腸吻合術	1
小腸腫瘍、憩室摘出術	1	腸閉鎖症手術	1
小腸切除術(悪性腫瘍以外)	6	試験開腹術	2
食道悪性腫瘍手術	3	腹壁腫瘍切開術	1
人工肛門造設術	10(2)	創傷処理	1
人工肛門閉鎖術	4		

(6) 放射線科

平成28年度の放射線科も常勤医は原田先生のみでしたが毎週木曜日に若手医師の長谷川知仁先生， 惠島史貴先生， 桑水流絵梨奈先生の3人が交代で非常勤として読影業務に当たってくださりとても助かりました。業務内容はこれまで通り主にCTやRIの検査レポートの作成です。肝臓に対する血管造影と動注療法は昨年度と同様一桁の件数でした。

放射線治療につきましては，毎週月曜日午後鹿児島大学放射線科より放射線治療専門医の中村文彦先生が応援に来てくださり，放射線治療計画や治療中の患者さんの診察，さらには院内外の先生方からの放射線治療に関する御質問や御相談にも応じて頂いております。病棟では主に肺癌の入院での放射線治療の方や肝臓の動注療法を行う方の診察を行っています。

放射線科の実績（平成28年度）

- ・ CT 3,231 件
- ・ RI 92 件
- ・ 血管造影 6 件
- ・ 放射線治療 45 件



28年度 医局スタッフ